

6月の図書館だより

No. 470 [2023 (令和5) 年6月号]

草津市立図書館

草津市立南草津図書館

☎ 077-565-1818

☎ 077-567-0373

FAX 077-565-0903

FAX 077-567-2357

日	月	火	水	木	金	土	= TOPICS =
				1	2	3 M①	・特別整理期間（蔵書点検）のお知らせ 南館：6/10(土)～6/15(木) 本館：6/21(水)～6/28(水) 上記の間、それぞれの館は休館となります。ご不便をお掛けしますが、ご理解、ご協力をお願いします。
4	5 南館休	6 本館休	7	8 H①	9	10 南館休 H②	
11 南館休	12 南館休	13 両館休	14 南館休	15 南館休	16	17 H③	・1983（昭和58）年7月1日に開館して以来、草津市立図書館（本館）は今年で40周年を迎えます。記念行事（イベント）の開催も計画していますのでご期待ください！
18	19 南館休	20 本館休	21 本館休	22 本館休 M②	23 本館休	24 本館休 M③	
25 本館休	26 両館休	27 本館休	28 両館休	29	30		・司書のおすすめ本紹介中！ 草津市のFacebook、広報くさつ、図書館のホームページでも定期的に司書がおすすめする本を紹介しています。何を读もうか迷った時にぜひ一度見てみてくださいね。
開館日 ●本館 水～月曜日 午前10時～午後6時 ○南館 火～日曜日 午前10時～午後8時 休館日 ●本館 火曜日 ○南館 月曜日 ●○両館 祝日、月末水曜日、特別整理期間、 年末年始〔12月28日～1月4日〕							

= EVENTS =

●草津市立図書館（本館）… H

H①：木曜おはなしのじかん（キッズデー）

日時 8日(木) 11時～11時30分
 会場 2階 会議室2
 対象 乳幼児と保護者の方
 定員 10組程度（当日先着受付）
 内容 手遊び、絵本の開き読みなど

H②：おはなしのじかん

日時 10日(土) 14時30分～15時
 会場 絵本コーナー
 対象 幼児
 内容 絵本の開き読みなど

H③：おはなし会

日時 17日(土) 14時30分～15時15分
 会場 3階 大会議室
 対象 幼児～小学校中学年
 定員 50名程度（当日先着受付）
 内容 おはなし、大型絵本など

○草津市立南草津図書館（南館）… M

M①：おはなし会

日時 3日(土) 11時～11時45分
 会場 市民交流プラザ 音楽室
 対象 幼児～小学校中学年
 定員 10組程度（当日先着受付）
 内容 おはなし、大型絵本など

M②：木曜おはなしのじかん（キッズデー）

日時 22日(木) 11時～11時30分
 会場 南草津図書館 絵本コーナー
 対象 乳幼児と保護者の方
 内容 手遊び、絵本の開き読みなど

M③：おはなしのじかん

日時 24日(土) 14時30分～15時
 会場 南草津図書館 絵本コーナー
 対象 幼児
 内容 絵本の開き読みなど

～40周年記念 さいとうしのぶさん ワークショップ&絵本ライブ～

講師 さいとうしのぶさん（絵本作家）

日時 8月6日(日) ①ワークショップ：午前（予定） ②絵本ライブ：午後（予定）

会場 草津市立図書館（本館） 3階 大会議室

定員 ①ワークショップ：50名（抽選） ②絵本ライブ：100名（抽選）

対象 ①親子（幼児～小学校高学年） ②どなたでも

申込 6月29日(休) 10時より草津市立図書館および南草津図書館にて窓口、FAX、電子申請システムで受付

その他詳細は、草津市立図書館のホームページをご覧ください。

新着図書紹介 2023年 6月

- ・お読みになりたい本がありましたら、ご予約ください。(返却期限の過ぎた本をお持ちの方は、返却を済ませてから、ご予約ください。)
- ・紹介していない本でも、ご予約いただけます。(電話でも結構です。それぞれご利用になる館に直接連絡してください。)

No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名	No.	記号	書名	著者名
1	007.13	ChatGPT	古川 渉一／著	41	501.6	小さいエネルギーで暮らすコツ	農山漁村文化協会／編	81	910.26 フ	文豪たちの嘘つき本	彩図社文芸部／編
2	007.6	AWSの技術と仕組み	宮本 圭一郎／著	42	527	空き家改修の教科書	フクイ アサト／著・イラスト	82	910.26 ホ	海を渡った日本文学	堀 邦維／著
3	019.53	子どもたちが考え、話し合うための絵本ガイドブック	子ども図書館司書／編	43	537.2	エンジン開発への情熱	桂木 洋二／著	83	910.268 カ	川端康成	十重田 裕一／著
4	019.9	名著の話	伊集院 光／著	44	549.8	半導体戦争	クリス・ミラー／著	84	910.268 シ	司馬遼太郎の現在地	
5	131.4	アリストテレスの哲学	中畑 正志／著	45	588.51	麴の甘酒図鑑	藤井 寛／著	85	911.168 ナ	いま二センチ	永田 紅／著
6	145.5	からだの錯覚	小鷹 研理／著	46	588.52	日本酒外交	門司 健次郎／著	86	913.6 イ	内角のわたし	伊藤 朱里／著
7	146.8	「消えたい」「もう終わりにしたい」あなたへ	水島 広子／著	47	590.4	50歳からのミニマリスト宣言!	筆子／著	87	913.6 ウ	上海灯蛾	上田 早夕里／著
8	159 キ	泣きたい日の人生相談	岸見 一郎／著	48	590	衣食住「あたりまえ」の見直し	主婦の友社／編	88	913.6 オ	27000冊ガーデン	大崎 梢／著
9	159.79	定年後の壁	江上 剛／著	49	591	お金の賢い減らし方	大江 英樹／著	89	913.6 カ	ゆうべの食卓	角田 光代／著
10	169.21	統一教会	櫻井 義秀／著	50	593.36	一年中着回せる簡単服	佐藤 かな／著	90	913.6 コ	それでも旅に出るカフェ	近藤 史恵／著
11	209.5	「日本と世界」が同時にわかるすごい歴史	非株式会社いつかやる／著	51	594.2	刺し子と暮らす	実乃莉／著	91	913.6 サ	猫にならって	佐川 光晴／著
12	222.048	唐	森部 豊／著	52	596	大原千鶴のお料理ノート	大原 千鶴／著	92	913.6 ス	ゴリラ裁判の日	須藤 古都離／著
13	232.8	軍と兵士のローマ帝国	井上 文則／著	53	596.04	おいしい朝の記憶	飛田 和緒／著	93	913.6 タ	特撮家族	高見澤 俊彦／著
14	281.04	闘いの庭 咲く女	ジェーン・スー／著	54	596.22	韓国ドラマの妄想ごはんレシピ帖	堤 人美／著	94	913.6 ト	息が詰まるようなこの場所で	外山 薫／著
15	289.1 オ	おばあちゃんとおぼく	大友 竜也／著	55	596.22	台湾小吃どんぶりレシピ	口尾 麻美／著	95	913.6 ナ	ピアノマン	南波 永人／著
16	289.1 マ	牧野富太郎植物語り	清水 洋美／編著	56	596.63	京都パンで巡るおいしい古民家	片岡 れいこ／著	96	913.6 ニ	走馬灯交差点	西澤 保彦／著
17	291.07	マニア流!まちを楽しむ「別視点」入門	別視点／編	57	596.7	はじめての中国茶とおやつ	甘露／著	97	913.6 ハ	美しき人生	蓮見 圭一／著
18	302.199	観光コースでない沖縄	新崎 盛暉／著	58	597.5	人生が面白くなる断捨離	やました ひでこ[総監修]	98	913.6 ハ	トワイライイト	畑野 智美／著
19	312.1	分断と凋落の日本	古賀 茂明／著	59	599.3	365日のフリージング幼児食	川口 由美子／監修	99	913.6 フ	李の花は散っても	深沢 潮／著
20	319.386038	ウクライナ2014～2022	国際問題研究会／編訳	60	613.4	農家が教える鉄とことん活用読本	農文協／編	100	913.6 マ	28歳フリーターが総理大臣と総選挙で戦ってみた	眞邊 明人／著
21	320.4	法の世界へ	池田 真朗／著	61	626	近江の在来野菜誌	長 朔男／著	101	913.6 ミ	ぼんぼん彩句	宮部 みゆき／著
22	332.107	反アベノミクスという病	高橋 洋一／著	62	626	自然農ではじめる野菜づくり	川口 由一／監修	102	913.6 ム	街とその不確かな壁	村上 春樹／著
23	334.522	華僑・華人を知るための52章	山下 清海／著	63	645.4	ヤギと暮らす	今井 明夫／監修	103	913.6 ム	ユーチューバー	村上 龍／著
24	336.98	税務署はやっぱり見ている。	飯田 真弓／著	64	645.8	うさぎのヒミツ	樋口 悦子／監修	104	913.6 ヤ	最後の祈り	葉丸 岳／著
25	338.18	子どもと一緒に読む投資の話	日野 秀規／著	65	701.1	美学の練習	津上 英輔／著	105	913.6 ユ	オール・ノット	柚木 麻子／著
26	361.8	「傷つきました」戦争	カロリーヌ・フレスト／著	66	709.1	正倉院のしごと	西川 明彦／著	106	913.6 ユ	時計泥棒と悪人たち	夕木 春央／著
27	364	働く人のための社会保障入門	藤本 健太郎／著	67	720.79	巨匠に学ぶ人物画の基本	内田 広由紀／著	107	913.68 マ	まもれ最前線!	神家 正成／著
28	367.4	「居場所がない」人たち	荒川 和久／著	68	726.601	「100まんびきのねこ」たちはどこから生まれどこへいったの	村中 李衣／著	108	914.6 カ	館内すべてお雛さま。	川上 弘美／著
29	369.27	障害のある人の欠格条項ってなんだろう?Q&A	臼井 久実子／編著	69	726.9	94歳セツの新聞ちぎり絵日記	木村 セツ／ちぎり絵	109	914.6 カ	行きつ戻りつ死ぬまで思案中	垣谷 美雨／著
30	370.6	教育が変われば、社会が変わる	崎谷 実穂／構成・執筆	70	754.9	かわいい動物折り紙	たつくりのおりがみ[著]	110	914.6 オ	糸暦	小川 糸／著
31	379.9	高学歴親という病	成田 奈緒子[著]	71	760.4	音楽と生命	坂本 龍一／著	111	914.6 サ	妄想radio	桜木 紫乃／著
32	383.81	「おふくろの味」幻想	湯澤 規子／著	72	769.9	バレエの世界史	海野 敏／著	112	914.6 マ	月と散文	又吉 直樹／著
33	392.1076	第三次世界大戦日本はこうなる	池上 彰／著	73	778.21	高倉健、最後の季節。	小田 貴月／著	113	915.6 フ	祖母姫、ロンドンへ行く!	榎野 道流／著
34	404	そろそろタイムマシンで未来へ行けますか?	齊田 興哉／著	74	781.5	やり続ける力	内村 航平／著	114	916 カ	お父さんは、君のことが好きだったよ。	加治川 健司／著
35	457	化石のきほん	泉 賢太郎／著	75	783.5	車いすテニスの革命	本條 強／著	115	916 シ	失くした「言葉」を取り戻すまで	清水 ちなみ／著
36	465.8	われら古細菌の末裔	二井 一禎／著	76	786.1	彼女たちの山	柏 澄子／著	116	916 ニ	くもをさがす	西 加奈子／著
37	481.35	クジラの歌を聴け	田島 木綿子／著	77	786.18	「おかえり」と言える、その日まで	中村 富士美／著	117	929.13 チ	僕のルーマニア語の授業	チャン ウンジン／著
38	493.937	思春期デコボコ相談室	大下 隆司／著	78	809.2	会話の科学	ニック・エンフィールド／著	118	936 コ	アントンが飛ばした鳩	バーナード・ゴットフリード／著
39	498.583	健康寿命をのばす食べ物の科学	佐藤 隆一郎／著	79	810.4	言語沼	堀元 見／著	119	953.7 ケ	長い物語のためのいくつかの短いお話	ロジェ・グルニエ／著
40	498.6	禁城	ムロン シュエツン／著	80	813.1	三省堂国語辞典から消えたことば辞典	見坊 行徳／編著	120	953.7 ネ	誤解	イレーヌ・ネミロフスキー／著

- 草津市立図書館トップページ(PC用): <http://www.city.kusatsu.shiga.jp/toshokan/>
- パソコンからの蔵書検索・利用照会ページ: <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kusatsu/webopac/index.do>



- 図書館からの予約連絡用メールアドレス: kusatsu_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp
(送信専用です。返信されてもお答えできません。)

今月の新刊から



『人気料理の黄金比味つけ
150』
主婦と生活社／編
(主婦と生活社)
596 【南館所蔵】

新生活が始まり、料理をするようになった人も多いと思います。でも「味つけがうまく決まらない」「そもそも味つけてどうするの?」といったお悩みを抱えてはいませんか?

本書は、「味つけには、間違いなくおいしく作れる調味料の配合の黄金比率がある」とし、料理のベースとなるたれの黄金比を、計量スプーンやカップでビジュアル化しています。使用する調味料の比率が覚えやすく、レシピも多数紹介されているので、おいしい料理を安定して作ることができます。

意外だったのは、1つの黄金比だけからできる料理は1つとは限らないことです。例えば「かば焼きだれ」は、「いわしのかば焼き」の他に、「厚揚げのステーキ」にも使えるそうです。

レシピにはカロリー表記もあるため、献立の参考にもなります。レパートリーが増え、味つけも決まると料理が楽しくなるかもしれません。ぜひ挑戦してみてください。(南館 山口)

「すべき・するべき」「眠い・眠たい」「サケの塩焼き・シャケの塩焼き」など、周囲の人の使うことばが自分と違って違和感を持ったことはありませんか。

本書では、そんなことばを『とまどう日本語』『気配りの日本語』『食べる日本語』などの7つの章にわけ、Q&A形式で紹介されています。全国無作為抽出調査やウェブアンケートでの結果も参考に考察することで、現代日本の「ことばづかいの相場」がわかる作りになっています。例えば、「週末」は金曜日や日曜日は含まれるのかどうか。調査によると土曜日、日曜日のみが週末と考える人が約半数となっていて、年代によっても違いがあることがわかります。

人や地域、年代によってもことばづかいは変わるということを知れば、ことばの違和感も優しく受け止めることができ、新たな知的好奇心の源となるのではないのでしょうか。

(南館 田淵)



『変わる日本語、それでも
変わらない日本語』
塩田 雄大／著
(世界文化社)
810.4 【南館所蔵】

司書のおすすめ



『ほんのきもち』

朝吹 真理子／ほか著
(扶桑社) 2018年
914.68ホ
【本館所蔵】

日常の中で、誰かの家にお邪魔する際に手土産を持って行く、旅行のお土産を渡す、遠方の家族へ仕送りする、作り過ぎた食べ物をおすそ分けするなど、ほんのきもちとして誰かに贈り物をするということがあると思います。

本書は、そんな「ほんのきもち」がテーマのアンソロジーとなっていて、16人の作家や漫画家、編集者たちの贈りものにまつわる短いエピソードが載っています。もらうと嬉しい差し入れの話、贈りものにコンプレックスを感じている話、日常的な気軽な贈り物を「小歳暮」と呼んで楽しんでいる話、家にやってきた犬がもたらした形のない贈り物の話など、テーマは同じでも書く人によって異なり、様々な見方や感じ方を楽しむことができます。

なかでも、甲斐みのりさんの手土産選びの話では、贈り物選びを楽しむコツが紹介されていて、誰かに贈り物を贈りたくなりました。甲斐さんが講師をされている「手みやげ講座」では“自分らしい定番手みやげ”候補として、①生まれた土地の物、②今暮らす家(職場)の近所で買えるものを発表してもらうのだそうです。つつい高価で良いものを選ぼうとして、あれこれ悩んで探し回ることもあるのですが、それが必ずしも良いものとは限らないし、自分の身近なものや思い出とともに選ぶほうがより気持ちが伝わりやすいのかもしれないと読んでいて感じました。

本書に登場する贈り物はどれも素敵で、個人的には坂木司さんがちょっとしたプレゼントに選ぶという美噌元の「美噌汁最中シリーズ」が気になっています。

思いがけずもらう贈り物の嬉しさや、相手を思い浮かべながら何を贈ろうかと考えるワクワク感、贈り物を渡すときのドキドキ感など、様々な感情が混ざり合う「ほんのきもち」を皆さんもぜひ味わってみてください。(本館 神村)